

(仮称)市立病院の在り方検討委員会運営等支援業務委託 採点評価書

【資料1】

採点の考え方 評価点×項目評価点 = 項目別得点 全項目合計1,000点

評価の観点	評価の視点	評価点(最大)	評価点(乗数)	項目評価点
A.仕様にかかる提案内容の評価				
1. 提案内容の適切性	仕様書の趣旨・目的・業務内容を理解しているか 全体スケジュール・進め方が具体的で無理のない内容となっているか パブリックコメント又は市民説明会の実施イメージが具体的に提案されているか 公立病院や日野市立病院を取り巻く状況や課題を踏まえた提案となっているか (例:人口構造の変化、医療需要の高度化、医師・看護師等の勤務環境の変化など)	150	15	0～10
2. 検討の視点の妥当性	検討委員会に向けた論点整理が具体的にできているか 提言及び市立病院再建方針(案)への反映を意識した整理となっているか 市が提供する令和7年度成果物の活用方針が示されているか 他自治体の事例や知見を活かした検討がなされているか	200	20	0～10
3. 成果物の質の確実性	提言書の構成が具体的に示されているか 提案内容から見て、会議資料及びパブリックコメント又は市民説明会用資料について、十分な質が期待できるか	100	10	0～10
B.実施体制等(支援業務実施のための総合的な能力・実績など)の評価				
4. 検討委員会の設計・運営力	開催回数やテーマの設定が適切で、無理のない内容となっているか 運営体制や司会進行、ファシリテーション手法が明確に示されているか 委員会での意見を整理し、提言へつなげていく方法が示されているか	250	25	0～10
5. 実施体制・責任者の適格性	担当者・責任者の経験や専門性が業務内容に合致しているか 体制図や役割分担が明確で、実行可能に見えるか 市との役割分担が協働方法が具体的に示されているか	200	20	0～10
C.経費等の評価				
6. 経費の妥当性	見積の根拠が合理的で透明性があるか 提案内容に照らしてコストパフォーマンスが適切か	50	5	0～10
7. 企業の信頼性	経営基盤・財務状況から継続的な履行能力があるか 医療及び病院経営に関する知見を有しているか	50	5	0～10
評価点総合		1,000		

【評価点について】

点 数	採点基準
10点	業務内容を的確に把握し、提案が具体的かつ現実的であり、説得性のある内容になっている。 業務内容に関する知識が豊富で、十分な経験を有している。 必要な調査分析能力を有しており、市の状況をよく理解した上での提案がなされている。 期待するレベルを超えた提案内容である。
8点	業務内容を理解し、具体的で現実的な提案である。 業務内容に関する知識を有している。 期待に応えるレベルの提案内容である。
6点	業務内容を理解しているが、提案における現実性若しくは具体性が欠けている。 業務内容に関する知識を一定程度有している。 想定範囲内の提案である。
4点	業務内容の理解が不十分であり、提案内容も具体性に欠ける。 業務内容に関する知識、経験が浅い。
2点	業務内容を理解しておらず、提案内容が本来の目的から逸脱している。 業務内容に関する知識がない
0点	項目についての記載なし、項目との関連性の無い記載。(評価ができない場合)